

[江別市] 施策達成度報告書

政策 01 環境と調和する都市の構築

施策 02 人と地球にやさしい環境の創出

主管課 環境室環境課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (21年度)	施策の課題 (21年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・異常気象・地球温暖化の深刻化 ・国は地球温暖化の課題克服に向けて、9月の国連気候変動サミットにおいて、2020年に温室効果ガスを、1990年比で25%削減するとの目標を掲げた。 ・都市化の進展、生活様式の利便性追求に伴う環境負荷の増大 ・世界的な水不足・砂漠化現象に加え石油代替エネルギー確保のためバイオ燃料の増産が加速しているが、食料との競合や森林伐採の増加など地球規模の新たな問題が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球にやさしい環境のまち」の実現 ・安全・安心・快適な地域環境の確保 ・小中学校などと連携した環境教育の充実 ・ライフスタイルの見直しなど、環境に配慮した価値観の創出

施策の目的

市民や事業者が環境負荷の少ない生活を送ることを心がけることにより、安全で快適な生活環境を目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・環境への負荷の少ない生活を目指す。
- ・安全で快適な生活環境を享受する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
地球にやさしい生活をしている市民割合	%	83.3	83.4			↗
公害発生件数	件	0	0			0

施策の達成状況 (21年度)

「地球にやさしい生活をしている市民割合」は横ばいの傾向にあり、今後も継続して環境に配慮した行動について、市民や事業者への啓発に努めていく。
 「公害発生件数」は0件であり、今後も基本事業を進めることにより維持に努める。

施策事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	82,973	75,867	105,436
事業費(千円)	13,184	15,292	43,809
人件費(千円)	69,789	60,575	61,627

01 地球環境保全への取組

基本事業の目的

地球温暖化防止等に向けて、環境負荷の少ない環境重視型生活・活動を行うことによって、地球にやさしい生活を送ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

大量生産・大量消費・大量廃棄型の生産活動や市民の生活様式を見直し、環境に負荷の少ない環境重視型生活・活動を行なう。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
省エネに取り組んでいる市民割合	%	47.9	50.3			↗
環境配慮活動に取り組んでいる事業所数	事業所	25	30			30

基本事業の達成状況 (21年度)

「省エネに取り組んでいる市民割合」は横ばいの傾向にあり、また「環境配慮活動に取り組んでいる事業所数」は増加している。地球規模での温暖化対策や環境問題を克服するためには、市民・事業者の環境配慮行動が重要であることから、市民環境講座や環境経営セミナーなどを通じ、住民等の意識の向上を図りながら環境保全への取組みを推進する。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	22,000	46,910
事業費(千円)		2,914	26,922
人件費(千円)		19,086	19,988

02 安全な地域環境の保全

基本事業の目的

大気、水質、騒音、悪臭などの環境問題に対応するとともに、市民・事業者へ情報を提供することにより、産業公害や都市・生活公害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な地域環境を守ります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・産業公害や都市・生活公害の発生を未然に防ぎ、安全で快適な地域環境を保全する。
・化学物質などの新たな環境問題に対応するとともに、市民・事業者への的確な情報提供により、被害の発生を防止する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
排出規制基準値超過事業所数	事業所	0	0			0

基本事業の達成状況 (21年度)

H21年度の基準超過事業所数は0件であり、これまでの行政の立入調査(観測・測定)や指導・監視・啓発による効果があったと考える。今後とも、公害事件発生を未然に防ぎ、地域の快適で安全な環境の保持のため、指導等の活動を進める。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	28,289	29,669
事業費(千円)		10,034	11,348
人件費(千円)		18,255	18,321

基本事業の目的

市民・事業者が環境に対する責任を自覚し、環境保全のための取り組みの意欲と能力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、事業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民・事業者が環境に対する責任を自覚し、環境保全のための取り組みの意欲と能力を高める。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
環境活動参加市民割合	%	12.3	14.1			↗

基本事業の達成状況 (21年度)

「環境活動参加市民割合」は、横ばいの傾向にある。今後も事業の創意工夫に努め、学校教育への出前講座の充実や日常生活における環境負荷を分かりやすくPRするなど、環境問題を身近な問題として捉える機会を設定しながら環境負荷軽減の行動意識を高める。

基本事業コスト	20年度決算額	21年度決算額	22年度当初予算
トータルコスト(千円)	0	10,104	10,765
事業費(千円)		1,806	2,437
人件費(千円)		8,298	8,328

基本事業の目的

対象 (誰を対象とした指標か)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	年度	年度	年度	後期目標値

基本事業の達成状況

基本事業コスト	年度決算額	年度決算額	年度当初予算
トータルコスト(千円)			
事業費(千円)			
人件費(千円)			